

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 加藤 敏昌
幹事 青山 敏郎
会報委員長 小池 宗

No. 9

ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは 希望をもたらす

1986～87年度

RI会長 M.A.T. カバラス

第203回例会 昭和61年8月26日(火) 晴

◇ “我等の生業”

◇ 出席報告

会員 56名 出席 40名
出席率 71.43%
前回 8月19日 (修正出席率) 100%

◇ ビジター紹介 6名

◇ お誕生日祝福

野村夫人(8/28)、堀江夫人(8/31)

◇ ニコボックス

名古屋和合RC相羽 錠一君 加藤会長さん、
青山幹事さん、一年間おつとめ御苦労様です。
大口 弘和君、宮尾 紘司君 青少年交換留
学生を迎えて。ヘザー、1年間楽しい学生生
活を送って下さい。

谷口 暢宏君 大越さん、御多忙中を有り難
うございました。

池田 隆君 フィリピンへの中古衣料寄贈
は、8月21日無事15カートン送る事が出来ま
した。会員の皆様方のご協力に感謝申し上げ
ます。

鷺野 義明君 写真代、遅くなって申し訳あ
りません。

武内 清君 中古衣料、皆様のご協力有り
難うございました。

野村 義雄君、堀江 宏輝君 夫人お誕生日
祝い。

◇ 青山幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致し
ますので、理事役員の方はお残り下さい。
2. 次週はガバナー公式訪問ですので、全会
員の出席をお願い致します。又、例会終了
後、クラブアSEMBリーを開催致しますの
で、理事役員、各委員長の方は百合の間に
お集まり下さい。

◇ 国際奉仕委員長報告

8月21日、フィリピンへの中古衣料を無事
15カートン搬入することが出来ました。皆様

に格別なるご協力頂きました事、厚く御礼申
上げます。

本日は交換留学生として8月22日カナダよ
り日本にお見えになりましたヘザー・キャス
リーンさんをお迎えしており、又、ホームス
テイとして彼女をお世話頂きます清水さん
にもおいで頂いております。

彼女は9月より名東高校へ一年生として通
われます。可能な限りいろんな家庭を訪問し、
日本をより理解してもらえればと思ってお
りますので、会員の皆様の中にお世話下さる方
がありましたらご連絡下さい。

武内国際奉仕委員長報告後、お世話頂きま
す清水さんと留学生のヘザー・キャスリー
ンさんより、それぞれご挨拶を頂きました。

◇ 加藤(敏)会長挨拶

本日より暫くの間「癌について」お話し申
上げます。出来るだけ専門的な事は避けて、
癌について少しでも御理解頂ければ充分です。
結核菌に侵された場合、「その治療をいかにし
たら良いか。」という事に、我々医師は、全
力を尽しますが、「結核菌」が、どの様な過
程をとって出来上ってきたかという事に対
しては興味を持ちません。癌は、正常細胞が何
らかの要因により、癌細胞となってくる様で、
この発生原因は、ある意味では、生の根幹に
触れる事にもなり、まだまだ地球上から撲滅
するには、長い年月が必要でしょう。現在、
癌の発生原因としては、色々な考え方があり、
癌治療に関しては、外科的に完全に除去する
以外に、その完治は望めません。各臓器によ
り、色々な手術方法があります。非手術的な
治療法とし、種々ありますが、これを色々組
み合わせたら、非手術的な癌治療は、数百で
はきかないでしょう。裏返せば、「絶対的な
治療法がない」という事になります。尚、癌
の予防方法も消極的な方法があるのみです。

胃癌は、大きく分けて、早期癌と進行癌に分れますが、本日は、「早期胃癌」についてお話ししました。

◇ 講演

“どうなる中日ドラゴンズ”

中日ドラゴンズ球団総務

大越 貫司 氏 (紹介 谷口君)



ただ今、シーズンの最中で明らかな話が出来難いのですが言外のニュアンスを汲みとっていただきたいと思ひます。

シーズンが終わりますとよく新聞記者がやります今年の10大ニュースは何だろうということですが、中日ドラゴンズの場合は次のようになろうかと思ひます。

- ① 7月初の山内監督の退陣と鈴木球団代表の退任(フロントのトップと監督が同時に退くということはドラゴンズの歴史が始まってはじめて)
- ② 戦力的なことですがクリーン・アップが極めて不振であったこと
- ③ ここ数年来のことですが採用する新人が育ってこないこと。ベテランが不振のときに新人でカバーできないということになるわけです。
- ④ 宇野のコンバート。これが彼の不振につながったともみられます。
- ⑤ 球団社長が心労から一時健康を害し現場から遠ざかったこと。

以上がいわば現状の忌憚のない見方といえようかと思ひますが、さてどうなる中日ドラゴンズというテーマからしますと、実は我々フロントは既に来年のことを想定し、水面下で事をやっているわけです。

この中で一番大きなことは、来期の監督は誰かということですが、実は一番話しづらいことなんです。週刊誌などによれば星野だということになっていますが、それでは高木代理監督はどうなんだということになります。高木監督になってははっきりドラゴンズの野球が変わってきたと思ひております。ベンチの選手が自分の役割を理解してきており、選手の交替、代打の起用等の面で大いに改革されてきました。多くの選手が不振の極にあつて

も5割を割らない実績をあげていますが、やはり監督と選手の呼吸がうまくかみ合うことが不可欠で、監督の用兵の妙ということであろうと思ひます。鹿島、米村が最近良くなつております。素材的にそれぞれの持味を持っています。はいたのですがどうして遅れて出てきたのか。去年入団した島野というコーチがいますが、彼のアドバイスによるところが大きいといえます。ストレート、カーブの球種を見分けられない投球フォーム(彼の場合はノーワインドアップに変えた)を指導し非常に良くなったわけです。平野の場合も同様にピッチャーのクセ(背中のユニフォームのシワの出来方)の見分け方のアドバイスが彼を盗塁トップにしているといえます。皆さんはこんなことなら数あるコーチであればどうして気づかないだろうかと不審に思われるでしょうが、そういうことが現実にはやたらにあるんだといえます。いわばこういう特技を持った人を集めることがドラゴンズを強くしていくことの一つであろうと思ひております。今年日本シリーズが終る頃には全スタッフを揃えることができると考えています。

話は戻りますが星野が3年前にやめたとき中日グループに留めておきたいということでありましたが、やはし外のめしを喰わすことが必要として無理もしたわけです。ドラゴンズは名古屋の地域性で家族的というか良い面もあるが、他面ハングリー精神に乏しいという甘い面もあるといえます。心して行きたいと考えています。

取り留めのない話しをしましたが、ドラゴンズは今年まちがいなく大きな改革をすることを約束して話しを終わります。

完全無欠の地域社会

改めることは何もない、というような完全無欠な地域社会を考えてみましょう。事故も犯罪も、飢餓もニーズもない、汚れない地域であります。雑草一つない、一片の心配もない地域であります。

今度は、そのような地域のロータリー・クラブを思い浮かべてみましょう。することは何もなく毎週毎週ただ坐しているだけです。さあ、空想はこれくらいにして、仕事にとりかかりましょう!

(情報抄録より)

◇次回例会(9月2日)

ガバナー公式訪問の為、講演はございません。

◇次々回例会(9月9日)

講演

“青少年の問題行動”

愛知学院大学文学部心理学教授

江見 佳俊 先生

(紹介 黒須君)